



平成 28 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 セーラー万年筆株式会社
代表者名 代表取締役社長 比佐 泰
(コード番号 7992 東証 第二部)
問合せ先 取締役管理部長 石崎 邦生
(TEL 03-3846-2651)

平成 27 年 12 月期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社が平成 27 年 2 月 16 日に公表しました平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）連結業績予想値および個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 27 年 12 月期通期連結業績予想数値と実績との差異（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,300	百万円 110	百万円 85	百万円 80	円 銭 0.64
今回実績（B）	6,117	△47	△82	△151	△1.21
増減額（B－A）	△183	△157	△167	△230	—
増減率（％）	△2.9	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 12 月期）	6,172	△91	△238	△209	△1.84

平成 27 年 12 月期通期個別業績予想数値と実績との差異（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,050	百万円 45	百万円 67	円 銭 0.54
今回実績（B）	5,801	△118	△159	△1.28
増減額（B－A）	△249	△163	△226	—
増減率（％）	△4.3	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 12 月期）	5,656	△219	△148	△1.30

1. 業績予想に差異が生じた理由

文具事業の業績回復が計画通り行かなかったことにより、計画に対し、営業損益に 157 百万円の差異が発生しました。また、直近では、ロボット事業の子会社（米国、タイ）において、販売手数料の増加 35 百万円や社員増員などによる人件費の増加 22 百万円等を計上した結果、利益率が低下しております。

売上高は前回発表予想を連結は 2.9%、個別は 4.3%下回ることとなり、利益面におきましては、特別損失として 86 百万円の計上などあり、連結当期純利益が△151 百万円、個別当期純利益は△118 百万円となる見込みです。

2. 特別損失の計上

文具事業において 3 期連続の損失計上となったため、天応工場設備の減損損失 86 百万円を計上いたしました。

以上